

参加作家：高山明（たかやま あきら）

1969年 埼玉県生まれ

1993年 早稲田大学第一文学部中退

1994-98年 ドイツの様々な劇団、劇場で演出助手および演出

1998年 日本に帰国し演劇活動

2002年 演劇&パフォーマンスユニット **Port B**（ポルト・ビー）創設

主な作品

2003年 『ブレヒト的ブレヒト演劇祭における 10月1日／2日の約1時間20分』（シアターX）

2004年 『Museum: Zero Hour ～J.L.ボルヘスと都市の記憶～』（シアターX）

2005年 『Re:Re:Re: place ～隅田川と古隅田川の行方（不明）～』（アサヒ・アートスクア）

2006年 E.シュレーフ作『ニーチェ』演出（BankART NYK ホール）

2006年 ツアー・パフォーマンス『一方通行路 ～サルタヒコへの旅～』（巣鴨地蔵通商店街）

2008年 ツアー・パフォーマンス『サンシャイン 62』（池袋周辺地域）

2008年 インスタレーション『荒地』（旧豊島区立中央図書館）

2008年 インスタレーション『東西南北』（旧ソウル駅、「プラットフォーム」展）

2010年 『完全避難マニュアル 東京版』（フェスティバル／トーキョー10）

2010年 『個室都市 京都』（京都国際舞台芸術祭）

2011年 『国民投票プロジェクト』（フェスティバル／トーキョー11）

2013年 『東京ヘテロトピア』（フェスティバル／トーキョー13）

主な出版物

『「個室都市 東京」ドキュメント』（Port B, 2010年）

『はじまりの対話』（思潮社・現代詩手帖別冊, 2012年）

『東京ヘテロトピア』（新潮 2014年2月号所収）



ツアー・パフォーマンス 《サンシャイン 62》 (池袋周辺地域)



《東京ヘテロトピア》 (フェスティバル／トーキョー13)

参加作家：小泉明郎（こいずみ めいろう）

1976年群馬県生まれ。現在は横浜市在住。

1999年国際基督教大学卒業

2002年ロンドン大学チェルシー・カレッジ卒業

2005-6年オランダ・アムステルダムライクスアカデミーにて二年間制作活動を行う。またその間、文化庁新進芸術家海外留学制度より助成を受ける。

主な個展

2009年 「MAMプロジェクト009：小泉明郎」（森美術館）

2010年 「トータル・エクスタシー」（アネット・ゲリンク・ギャラリー、アムステルダム）

2011年 「傷ついた英雄の美しい午後」（アートスペース、シドニー）

2013年 「プロジェクト・シリーズ 99：小泉明郎」（ニューヨーク近代美術館）

主なグループ展

2002年 「ニュー・コンテンポラリーズ 2002」（リバプール・ビエンナーレ、バービカン・カーヴ、ロンドン）

2007年 「アート・サマー・ユニヴァーシティ」（テイトモダン [スクリーニング・イベント]）

2008年 「南京トリエンナーレリフレクティブ・アジア」（南京博物院）

2010年 「レゾナンス」（サントリーミュージアム天保山）

「第1回愛知トリエンナーレ」

2011年 「インビジブル・メモリー」（原美術館）

2012年 「Omnilogue: Journey to the West 展」（国際交流基金、ラリット・カラ・アカデミー、ニューデリー）

「フューチャー・ジェネレーション・アート・プライズ」（ピンチュック・アート・センター、キエフ）

「第15回アジア美術バンガラディッシュ・ビエンナーレ2012」

2013年 「六本木クロッシング2013ー来るべき風景のために」（森美術館）

「日産アートアワード」（BankART NYK）

「ナウ・ジャパン」（KAde アムステルフォート市美術館、オランダ）



《劇場は美しい午後の夢を見る》



《記憶術（父親）》



《もうひとつの視覚》